

12

0157

RA'-0088

0092

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan



千九百四十五年八月二十日「フィリピン」
諸島「マニラ」ニ於テ日本國代表ニ手交セ
ラレタル聯合國最高司令官要求事項

0158

内容

第一號 方針、日程及要項（訂正セルモノ）

第二號 聯合國最高司令官ヲ代表スル先遣隊ノ東京灣地域ニ於ケル進駐及行動ニ關スル要求事項
別紙 甲（地圖）

第三號 聯合國最高司令官及其ノ隨行部隊ノ進駐ニ關スル要求事項
別紙 甲 兵站ニ關スル要求事項

第四號 南九州鹿屋地域ニ於ケル第一次占領部隊ノ進駐及行動ニ關スル要求事項
別紙 甲（地圖）

0159

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

RA'-0088

0093

千九百四十五年八月廿九日「フィリピン」
諸島「マニラ」ニ於テ日本國代表ニ手交セ
ラレタル聯合國最高司令官要求事項
本文書ハ曩ニ手交セル同種文書第一項ヲ修正セルモノナリ

第一號

方針、日程及要求事項

聯合國最高司令官ハ千九百四十五年八月三十一日東京灣ニテ合衆
國戰艦上ニ於テ日本軍ノ降伏ヲ受諾ス確定時刻ハ追テ指示セラル
ヘシ

降伏實施ノ爲聯合國最高司令官及其隨行部隊ハ降伏式施行ニ先立
チ左ノ日程ニ依リ東京灣ニ到ルヘシ

八月二十六日

(イ) 先遣部隊空路厚木飛行場到着

(ロ) 合衆國海軍部隊相模灣到着

(ハ) 海軍部隊東京灣内ニ進入

八月二十八日

(ニ) 聯合國最高司令官隨行空輸部隊厚木飛行場着陸開始

(ホ) 海軍及海兵部隊横須賀軍港附近上陸

(ヘ) 上記部隊ハ直ニ特ニ指定セラレタル地域ヲ占領シ正式降伏完

了迄ノ間駐屯スヘシ

八月二十九日、三十日

空輸及海軍部隊引續キ到着

八月三十一日

(イ) 空輸及海軍陸戰隊引續キ上陸

(ロ) 東京灣内合衆國戰艦上ニ於テ追ツテ指定セラルヘキ時刻ニ聯
合國最高司令官ハ日本國天皇、政府及大本營ニ依リ正當ノ權
限ヲ附與セラレタル代表者ヨリ日本國天皇ノ署名アル詔書及
降伏式ニ於テ指定セラレタルカ如ク署名セラレタル降伏文書

0161

0160

ヲ受領ス
正式降伏直後右二通ノ文書ハ陸海軍一般命令第一號ト共ニ日
本國及日本國ノ支配下ニアル地域竝ニ日本國民及ヒ其ノ何所
ニアルヲ問ハス日本國ノ支配下ニアル諸部隊ニ布告セラルヘ
キモノトス

九月一日

①先遣部隊鹿屋飛行場着陸

九月二日

②空輸部隊鹿屋飛行場ニ着陸

海軍陸戰隊高須ニ上陸

ニ在「マニラ」聯合國最高司令官ノ代表者トノ會見中及其ノ後ノ日

程トシテ日本代表者ニ左ノ事項ヲ通報ス

千九百四十五年八月十九日二〇時三〇分頃

日本代表者ハ聯合國最高司令官本部ヘ伴ハルヘシ

右日本代表者ハ左ノ事項ニ關シ得ラルヘキ情報ヲ提出スルノ用

意アルヘシ

イ、東京灣及鹿屋（九州）地域ニ於ケル左ノ如キ施設

飛行場

水上機基地

海軍基地

防空施設

港灣防備施設

地雷、機雷、原及陸海空ヨリスル行動ニ對スル其他ノ障害竝ニ

右ニ關聯スル安全航路

空中及水上航行ニ對スル補助施設

港灣施設

送油管ニ依ル配給施設ヲ含ム貯油施設

有蓋及無蓋補給品貯藏所

0163

0162

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0095

RA'-0088

將校宿舍

兵營

兵舍

事務所敷地

自動車輸送

ロ、何レノ地ニアルヲ問ハス日本國內及日本國ノ支配下ニアル地域ニ於ケル俘虜及非戦闘員收容所及抑留所、特ニ「ジエム・ウエインライト」及「エー、イー、イー、バイシバル」將軍ノ現在ノ所在地ヲ通報スヘシ

千九百四十五年八月二十日八時三〇分

日本代表者ハ聯合國最高司令官及ヒ其ノ隨行部隊ノ東京灣内及鹿屋飛行場地域ヘノ進入ヲ容易ナラシムル爲メ聯合國最高司令官ノ要求事項ヲ記載セル文書及歸京後天皇ヘ奉呈スヘキ次ノ書類ヲ手交セラルルモノトス

イ、日本國天皇ノ詔書。本文書ハ天皇ノ親書ノ後追テ指示セ

0164

ラルヘキ正式降伏ノ時及場所ニ於テ天皇ノ代表者ニ依リ聯

合國最高司令官ニ對シ提出セラルヘシ

ハ、降伏文書。本文書ハ正式降伏ノ時及場所ニ於テ之ヲ提出シ

同文書ニ指示シアル關係者署名ヲ求ムヘシ

ハ、陸海軍一般命令第一號。本命令ハ正式降伏後日本國天皇ノ

詔書及ヒ降伏文書中ニ指示セラレアル如ク公布セラルヘシ

千九百四十五年八月二十日以降

日本代表者ハ「ヤニラ」ヲ出發伊江島ヲ經テ東京ヘ向フヘシ

日本代表者ハ目的地到着時刻ヲ速ニ聯合國最高司令官ニ通報ス

ヘシ歸着後右代表ハ直ニ以上イ、ロ、ハ、ニ表示セル文書ヲ

天皇ニ奉呈シ聯合國最高司令官及其ノ隨行部隊ノ東京灣地域進

入並ニ鹿屋飛行場占領ニ關スル要求事項ヲ上奏スヘシ

以上ニ示セル日程ハ聯合國最高司令官ノ都合ニ依リ變更セラルル

コトアルヘシ

0165

千九百四十五年八月二十日「フィリピン」諸島
「マニラ」ニ於テ日本國代表ニ手交セラレタル
聯合國最高司令官要求事項

第二號

聯合國最高司令官ヲ代表スル先遣隊ノ東京灣地域ニ於ケル進駐及行
動ニ關スル要求事項

(イ) 聯合國最高司令官ノ今次及將來ノ要求事項中「東京灣地域」ト
ハ別紙「甲」地圖ニ赤線ニテ圍マレタル地域ヲ謂ヒ右別紙ハ本
文書ノ一部トシテ看做サルモノトス

(ロ) 聯合國最高司令官ノ今次及將來ノ要求事項中東京灣地域内ニ於
ケル「第一次撤退地域」トハ前記別紙「甲」ニ黒線ニテ圍マレ
タル地域ヲ謂フ

ニ先遣隊ハ聯合國最高司令官ヲ代表シ聯合國最高司令官及之ニ隨行
スル空陸及海軍部隊ノ「第一次撤退地域」ニ對スル進駐ノ準備ヲ
ナスモノトス

0166

ニ日本國大本營ハ聯合國最高司令官ニ對シ千九百四十五年八月二十
五日一五〇〇時又ハ夫レ以前ニ合衆國制定標識ヲ附シタル航空機
約四十八機ニテ輸送セラルル約百五十名ヨリ成ル先遣隊ノ安導ヲ
無電ヲ以テ確認スヘシ右先遣隊ハ來ル千九百四十五年八月二十六
日〇九〇〇時頃厚木飛行場ニ着陸スヘシ正確ナル到着時刻ニ關シ
テハ飛行中ノ航空機ヨリ東京灣地域ニ於ケル東京無線局ニ對シ呼
出符號「RED」ヲ以テ無電ニテ直接連絡スルモノトス右航空機
ハ周波數四四九五「キロサイクル」呼出符號「VICTOR」ヲ
使用ス安導トハ左ノ諸項ヲ含ムモノトス

(イ) 厚木飛行場ヘノ安全ナル進駐及着陸

(ロ) 「第一次撤退地域」ニ駐屯中先遣隊ノ人員、航空機及裝備ニ對
スル安全保障及危害防止

(ハ) 先遣隊員ノ任務遂行中彼等ニ對シ有ユル好意ヲ持シ且便宜ヲ供
與スル事

0167

(二) 厚木飛行場ニ於ケル安全ニ護衛セラレタル宿舍ノ供與
 (三) 先遣隊各員ノ厚木飛行場地域内ニ駐屯中何所ニ在ルヲ問ハズ其
 絕對安全ヲ保障スヘキ員數及裝備ヲ有スル警察官ニ依ル護衛
 (四) 日本陸軍航空司令部、海軍航空司令部、參謀本部、海軍軍令部
 ノ夫々ノ先任將校各一名ハ先遣隊長ノ厚木飛行場到着次第之ヲ
 援助シ且第一次撤退地域ノ設備ニ付先遣隊長ノ要求スルコトア
 ルヘキ情報ヲ供與シ又ハ供與シ得ル如ク準備シ置クヘシ又先遣
 隊長ノ要求スルコトアルヘキ通譯及案内人ヲ供與スヘシ
 (五) 先遣隊長ノ要求スルコトアルヘキ厚木飛行場地域ニ於ケル自動
 車發送及其道路選定
 (六) 先遣隊及在「マニラ」聯合國最高司令官閣ノ自由ナル無線通信
 先遣隊ノ到着時刻、着陸ニ關スル指示事項及其他安全飛行ニ必要
 ナル事項ニ關シ飛行中連絡スヘキ東京灣地域放送局ノ呼出符號及
 其周波數ヲ千九百四十五年八月二十四日一五〇〇時又ハ其レ以前

0168

ニ通報スヘシ
 五、日本國大本營ハ厚木飛行場地域ヨリ一切ノ日本軍戰團部隊ヲ撤退
 スヘシ但シ暴動、狙撃其他公安ヲ亂ス行動ヲ阻止スルニ必要ナル
 一切ノ警察官及憲兵隊員ハ此ノ限ニ非ス該飛行場ハ先遣隊ノ使用
 ノ爲之ヲ維持シ且完全ニ使用シ得ル状態ニ存知スルモノトス

0169

第三號

聯合國最高司令官及其隨行部隊進駐ニ關スル要求事項

一、日本帝國政府及大本營ハ千九百四十五年八月二十四日一八〇〇時

ヲ期シ左ノ要求事項ヲ實施スベシ

(1) 日本國軍隊及民間航空當局ハ日本國內ニ在ル日本國陸軍、海軍

又ハ民間ノ一切ノ航空機ヲシテ追テ其ノ處分ニ關シ指示アル迄

確實ニ之ヲ地上、水上又ハ艦船上ニアラシムベシ

(2) 日本國ニ屬シ又ハ日本國ノ支配下ニアル一切ノ種類ノ陸海軍及

民間ノ艦船ニシテ日本國領海内ニ在ルモノハ聯合國最高司令官

ノ追テ命令スル迄之ヲ毀損スルコトナク保存スベク又現ニ進行

中ノ航海以外ニ一切移動セザルモノトス航行中ノ船舶ハ直ニ一

切ノ種類ノ爆發物ヲ無害ナラシメ之ヲ海中ニ投棄スベシ航行中

ニ非ザル艦船ハ直ニ一切ノ種類ノ爆發物ヲ陸上ニ安全ニ格納ス

0170

0171

ベシ

(3) 日本國領海内ニ在リテ民需補給ニ從事中ナル總噸數百噸未満ノ

商船ニ付テハ前號ノ規定ヲ適用セズ東京灣内ニアル船舶ニシテ

横須賀鎮守府ノ人員ノ撤退ニ從事スルモノニ付亦同ジ

(4) 日本國ニ屬シ又ハ日本國ノ支配下ニアル船舶ニシテ航海中ノモ

ノハ其ノ何所ニ在ルカラ問ハズ直ニ五〇〇「キロサイクル」(

六〇〇米)ノ波長ヲ以テ最寄ノ米、英若ハ蘇聯ノ無電局ニ對シ

且四二三五、八四七〇、一二七〇五又ハ一六九四〇「キロサイ

クル」ノ高周波ノ中何レカ一ヲ以テ呼出符號NQOニ對シ平文

ヲ以テ直ニ自己ノ位置ヲ通報スベシ之等ノ船舶ハ最寄ノ聯合國

ノ港又ハ米國太平洋艦隊司令長官ノ指示スル港ニ向ケ航行シ指

示ヲ待ツベシ之等船舶ハ夜間ハ航海燈ヲ點シ探照燈ヲ垂直ニ照

射スベシ

(5) 日本ニ屬シ又ハ日本ノ支配下ニアル潜水艦ハ其ノ何所ニ在ルカ

ヲ問ハズ水上ニ在リテ黒色旗又ハ黒色三角旗ヲ掲揚シ夜間ハ點
燈スベシ此等ノ潜水艦ハ前項ニ從ヒ其ノ位置ヲ報告シ左ノ諸港
灣中最寄ノモノニ向ヒ水上航行シ當該港口十哩ノ地點ニ到着シ
タルトキハ港灣當局ト連絡シ聯合國海軍部隊ノ乗艦スル迄同所
ニ停船シ居ルモノトス

「グアム」島「アガナ」、「ミッドウェー」島、比島「スー
ビック」灣

(イ) 聯合國側ノ俘虜及被抑留非戦闘員ノ安全及福祉（充分ナル衣食
住及醫療ノ提供ニ必要ナル行政及補給ヲ含ム）ハ追テ聯合國最
高司令官ニ於テ責任ヲ引受クル迄ハ慎重ニ保持セラルベシ尙投
下セラレタル聯合國俘虜及被抑留者向物資ハ確實ニ之ヲ傳達ス
ルモノトス

(ロ) 聯合國側俘虜及非戦闘員ノ收容所及抑留所ハ凡テ高さ二十呎ノ
「PM」ノ文字ヲ南ヨリ北ニ向ツテ讀ム如ク黒地ニ黃色ヲ以テ

0172

畫キ之ヲ標示スベシ更ニ詳細ハ別紙Aノ通トス

ニ日本帝國政府及大本營ハ千九百四十五年八月二十五日一八〇〇時

ヲ期シ左ノ要求事項ヲ實施スベシ

(イ) 東京灣進入ニ當リ陸海空ノ行動ヲ安全サラシムル爲一切ノ地雷
機雷原其ノ他ノ障害物ヲ除去スルモノトシ其ノ作業終了スル迄

ハ安全通路ヲ存置シ且之ヲ明ニ標示スベシ

(ロ) 一切ノ航行補助施設ハ之ヲ復活スルモノトシ之ガ完全ニ復活ス
ル迄ハ現行戰時航路標示照明ハ之ヲ維持スルモノトス但シ微光

燈ハ全光力ヲ以テ照明スルモノトス

東京灣地域ニ於ケル水先案内ハ引續キ其ノ業務ヲ繼續スベキモ
トシ一切ノ水先案内人ハ海圖ヲ所持シ直ニ出動シ得ル様其ノ

通常駐在場所ニテ待機スベシ

港灣運営關係ノ海軍軍人其ノ他ノ職員ハ其ノ勤務場所ニ在リテ
其ノ通常ノ任務ヲ續行スベシ

0173

(イ) 東京灣内及其ノ灣口ニアル一切ノ船舶ヘ之ヲ停止セシムベシ
(ロ) 東京灣地域ノ一切ノ海岸砲、高射砲其ノ他ノ砲（固定及可動ノモノヲ含ム）ハ其ノ口徑ノ如何ヲ問ハズ尾栓ヲ除去シ其ノ砲身ヲ最低俯角ニ下ゲ使用不可能ナラシムベシ
(ハ) 東京灣地域ニ在ル一切ノ艦船ハ完全ニ武装解除シ本文書ニ明記スルモノ以外ノ一切ノ兵器モ亦同ノ趣ニ如何ヲ問ハズ第一次撤退地域内ニアルモノハ之ヲ使用不可能ナラシムベシ
三 日本帝國政府及大本營ハ千九百四十五年八月二十七日一八〇〇時ヲ期シ左ノ要求事項ヲ實施スベシ
(イ) 横須賀軍港ハ合衆國海軍部隊之ヲ占領スベク又同部隊ノ使用シ得ルガ如ク準備スベシ
(ロ) 日本軍ノ一切ノ戦闘部隊ハ第一次撤退地域（附圖参照）ヨリ之ヲ撤去セシメ且指定宿營地區内ヨリ他出セシメザルモノトス但シ暴動、狙撃其ノ他公安ヲ亂ス行動及多數人民ノ集合ヲ禁止シ

0174

6
(イ) 第一次撤退地域ヲ熟知セル當該地方案内者及通譯百二十五名ヲ
且之ヲ防止スル爲必要トシテ維持セラルベキ一切ノ警察官及憲兵ハ此ノ限ニ非ラス非公裝ノ軍人ニシテ通常ノ管理ノ任務ヲ行フニ必要ナル者ニ付亦同ジ警察及憲兵ノ使用スル火器ハ小火器ニ限ル尙大島ニ於テハ人員ハ殘留スルコトヲ得ルモ武装解除セラルベキモノトス
(ロ) 別紙（甲）ニ詳細ヲ示シアルガ如ク最高司令官ノ爲適當ナル宿泊設備、宿營及野營地域ノ諸施設ヲ準備スベシ
四 日本帝國政府及大本營ハ千九百四十五年八月二十八日〇六〇〇時ヲ期シ左ノ要求事項ヲ實施スベシ
(イ) 聯合國最高司令官ノ代表到着次第直ニ厚木ニ於テ且其ノ後處理ヲ要スル一切ノ問題ヲ速急ニ解決スル爲指示セラルベキ時期及場所ニ於テ協議シ得ル様大本營職員若干名ヲシテ待機セシムベシ
(ロ) 第一次撤退地域ヲ熟知セル當該地方案内者及通譯百二十五名ヲ

0175

準備スベシ

東京灣安全進入ヲ保障スル爲日本艦艇一雙ハ成ルベク速ニ退クト
モ千九百四十五年八月二十六日〇八〇〇時以前ニ大島ノ百三十五
度二十度ノ位置ニテ合衆國海軍部隊ト邂逅シ先任合衆國海軍司令
官ノ指示アル時ハ之ニ順シ同部隊ハ相模灣ニ誘導シ又一部部隊ヲ
東京灣内ハ誘導スル爲水先案内人十二名ヲ差出スベシ右水先案内
人ハ一切ノ水中防備施設、機雷原基ノ他障礙物及一切ノ航海補助
施設ノ位置ヲ明示セル完全ナル海圖ヲ所持シ居ルベシ
聯合國部隊ハ千九百四十五年八月二十五日〇六〇〇時ヲ期シ其ノ
行動ノ行動區域内ニ於テ左ノ一般の指圖ヲ講ス
(1)聯合國航空機ハ晝夜ニ亘リ日本及日本ノ支配下ニアル諸地域ハ
監視飛行ヲ行フベシ
(2)聯合國空軍部隊ハ聯合國俘虜收容所及非戦闘員抑留所宛航空機
ニ依リ給養品ヲ投下スベシ

0176

(3)聯合國海軍部隊ハ日本及日本ノ支配下ニ在ル諸地域ノ沿岸水域
ヲ占領スベシ

(4)聯合國海軍部隊ハ左ノ諸海作業ヲ開始スルコトアルベシ
東京、大阪、佐世保、長崎、高須(鹿兒島灣)、仁川(チエム
ルホ)、青島、上海、廣東、香港、一シンガポール
右任務遂行中ハ之ニ妨害ヲ與フルコトヲ得ス

0177

第三文書、別紙甲

一、第一次占領地域ニ於テ左ノ各條ノ便宜要求セラレ供與セラルベキモノトス

二、總司令部區域

左ノ各號ノ便宜ハ人口稠密ナラザル一區域ニ綜合的ニ所在スベキモノトス

該區域ハ所要ノ便宜ヲ適宜集合的ニ所定目的ノ爲使用セラルル如ク提供スベキナリ提供セラルル一切ノ建築物及施設ハ其ノ目的ニ達スル如ク完全ナル家具及設備ヲ有シ適當ナル照明及衛生設備ヲ備フベシ

(イ) 聯合國最高司令官ノ爲相當ノ造作ト家具及四名ノ副官及三名ノ使用人ノ爲ノ寢室ヲ有スル適當ナル住宅

(ロ) 參謀長及他ノ九名ノ將官ノ爲ノ相當ノ造作及家具ヲ有シ最高司令官住宅ノ近隣ニアル適當ナル住宅

(ハ) 六百名ノ士官ノ爲浴室及便所ノ施設ヲ有スル「ホテル」又ハ宿舍等ノ類ヨリ成ル住居區域

(ニ) 二千三百名ノ兵員ヲ收容シ得ル所要ノ廚房、食堂、浴室、便所及事務所ヲ備フル兵舎其ノ他ノ建物

兵舎ノ收容力ノ基準ハ一人當五百立方呎以下ナラザルモノトス(イ) 司令部事務所ノ爲約六七、〇〇〇平方呎ノ事務所用敷地ヲ要ス

右ハ要スレバ一區域ヲ四九、〇〇〇平方呎他ノ地區ヲ一八、〇〇〇平方呎トスル基準ニ依リ適宜ノ距離ニ離レタル二區域ニ分ツコトヲ得

(イ) 軍需品格納ノ爲ニ約一萬平方呎ノ有蓋倉庫敷地ヲ要求セラルベシ右敷地ハ駐屯兵舎ノ附近ニアルモノナルヲ要ス上記有蓋倉庫ノ附近ニ約十萬平方呎(二「エーカー」)ノ野天物資集積用又ハ自動車停車用空地ヲ要ス

(ロ) 本地域ニ於テ一九四五年八月二十七日一五〇〇時迄ニ下記數量

0179

0178

0180

ノ自動車輜ノ提供ヲ要ス聯合軍側ヘノ引渡ニ先チ一切ノ之等車輜ニハ完全ニ「ガソリン」、潤滑油及「グリース」ヲ供給シ置クヲ要ス、聯合軍側ノ使用期間中「ガソリン」及潤滑油ハ所要ニ應ジ供給セラルベキモノトス

總司令部地域ニテ所要ノ車輛類左ノ如シ

乗用車 一五〇臺、「バス」(十五人乗以上) 二五臺、「トラック」(二屯乃至二屯半積「カーゴ」型) 五〇臺

三 飛行場地域

(4) 聯合軍ノ最初ノ着陸ノ爲選定セラレタル飛行場ハ晝間及夜間離着陸ノ爲ノ施設、格納庫(複數)、固化シタル飛行機修理所及無電施設ヲ完備シ且近傍ニ約三千名ノ爲ノ居住施設ヲ有スルモノナルベシ飛行場ヨリハ破壊ノ跡ヲモ含ム一切ノ殘骸及障礙物ヲ完全ニ除去セラルベク飛行場ハ一九四五年八月二十六日〇三〇〇時迄ニ安全ナル離着陸ヲ可能ナラシムルヲ要ス

0181

(4) 飛行場ノ固定作業施設ニ加フルニ一九四五年八月二十六日〇三〇〇時迄ニ左ノ如キ最良状態ニ在ル整備及作業用品ヲ供給スベシ

消防車 三臺

應急車 三臺

破損飛行機用起重機(一〇屯) 二臺

「ブルドーザー」 二臺

「トラクター」(ディーゼルハッソレ以上) (七噸) 三臺

路上清掃機(動力化) 三臺

飛行機整備用機器(積載量五〇〇乃至七〇〇「ガロン」ノ油槽車) 三五組

救急車 十臺

(5) 以上ニ加フルニ飛行場ニ一九四五年八月二十七日一五〇〇時迄ニ左ノ如ク自動車ヲ用意スベシ

四 海軍地域

乗用車（幕僚用車乃至之ニ相當スルモノ） 五〇臺
「バス」（一五人乗以上） 五〇臺
貨物自動車（積載量約二噸「カーゴ」型） 四〇〇臺

海軍施設ハ左ニ依リ一九四五年八月二十六日一八〇〇時迄ニ聯合
國軍ノ占領ノ爲ニ用意セラルベシ

(イ) 現存ノ全設備即チ棧橋、作業場、浮船渠、病院其ノ他直ニ使用
シ得ル一切ノ他ノ施設並ニ約一三、〇〇〇人ノ爲ノ居住區ヲ含
ム横須賀海軍基地全部、軍港區域ハ二五〇「エーカー」ヲ下ラ
サル近接地帯ヲ含ムモノトス聯合國軍ニ依ル軍港占領ノ際ニハ
即時ニ使用可能ノ乗用車二五臺、積載量約二噸ノ貨物自動車五
〇臺ヲ用意スベシ

(ロ) 全施設及約四〇〇〇人ヲ收容シ得ル居住區ヲ含ム横須賀海軍航
空基地ハ横須賀軍港占領ト同日時ニ占領セラルル様用意セラ

ルベシ

(イ) 聯合國軍ノ占領ニ先立チ全施設ヨリ破壊物ヲ含ム一切ノ殘骸及
障礙物ヲ清掃スルヲ要ス

五 一般的便宜供與

以下述ブル一般的便宜ハ聯合國軍ノ第一次占領地域ヨリ適當ノ距離
ニ於テ一九四五年八月二十八日〇三〇〇時迄ニ聯合國軍ノ使用ニ供
シ得ル如クスベシ。

(イ) 用意セラルベキ港灣施設ハ長サ四五〇呎、吃水三〇呎ノ船舶ヲ收
容シ得ル碇泊所及吃水二四乃至三〇呎ノ油槽船ヨリ燃料ヲ陸上
ゲシ得ル燃料供給用棧橋若ハ突堤ヲ包含スベシ

六 雜

(イ) 前述ノ總テノ便宜ハ聯合國軍ニ引渡サルル時ニハ破壊物ヲ除カレ
充分清潔且衛生的ニシテ全能力發揮可能狀態ニアルヲ要ス

(ロ) 聯合國軍ノ爲ニ提供セラルベキ車輛ハ運轉手ヲ伴フベク之ガ雇傭

0183

0182

繼續又ハ解雇ハ聯合國司令官が受領後はヲ行フ聯合軍ニ車輛ヲ引渡スニ當リ此等車輛ハ「ガソリン」、潤滑油、「グリース」ヲ完全ニ供給セラレ且日本政府ニ依リ提供セラルベキ全車輛ヲ聯合軍ガ運轉シ得ル様「ガソリン」及潤滑油ノ適宜ノ再供給ヲモ用意セラルルヲ要ス

七 日本政府ハ占領期間中聯合軍ニ依リ要求セラルベキ地域及諸便宜ヲ供與スベキ機能ヲ有スル「中央機關」ヲ設立スベシ聯合軍最高司令部トノ交渉ヲ容易ナラシムル爲此ノ機關ハ東京ニ設ケラルベシ是ニ係キ此ノ機關ノ三ツノ支部ガ他ノ地域ヲ占領スル聯合軍主要司令官本部ノ近傍ニ設置セラルベシ東京ニ置カルベキ中央機關ハ一九四五年八月三十一日一八〇〇時迄ニ機能ヲ發揮シ得ルモノタルベシ

八 左ニ依リ聯合國ノ俘虜及被抑留者ノ收容所ニ關スル情報ヲ「マニラ」ノ聯合軍最高司令部ニ遲滞ナク「ラヂオ」ニ依リ報告スベシ

0185

(イ) 收容所ノ名稱又ハ他ノ公式ノ指稱

(ロ) 最短距離ニアル顯著ナル地理上ノ地點ヨリノ位置

(ハ) 各收容所ノ緯度及經度(度、分)

(ニ) 各收容所ノ俘虜及被抑留者夫々ノ總數及其ノ中ニ婦人アルトキハ其ノ總數中ニ含マレ居ル數

上記ハニ依リ俘虜及被抑留者收容所ノ位置ヲ通報スルニ際シ使用セラルベキ「ラヂオ」放送ノ例文添付セラル「ラヂオ」放送ノ輻射ヲ避クル爲各一回ノ放送ニ於テハ六以上ノ收容所ノ位置ヲ通報セサルモノトス

0184

第四號

南九州鹿屋地域ニ於ケル第一次占領部隊ノ進駐及行動ニ關スル要求事項

一 聯合國最高司令官ノ今次及將來ノ要求事項中南九州「鹿屋地域」トハ別紙「甲」地圖ニ赤色ニテ示シアル地域ヲ謂ヒ右別紙ハ本文書ノ一部トシテ看做サルモノトス

ニ 聯合國最高司令官ヲ代表スル先遣隊ハ水上及空中ヨリスル第一次占領部隊ノ鹿屋地域進駐準備ノ爲千九百四十五年九月一日同方面ニ進入スベク右占領部隊ハ千九百四十五年九月二日同方面ニ進駐スベシ

日本帝國大本營ハ東京灣地域内ニアル聯合國軍最高司令官ニ對シ千九百四十五年八月三十一日二〇〇時又ハ夫レ以前ニ、二十名ヲ搭載シ米合衆國ノ制定標識ヲ附シタル航空機二機ヨリナル先遣隊ノ鹿屋地域進入ニ關シ充分ノ安全及同地域ニ於ケル援助ヲ保證ス

0187

0186

- ベシ右先遣隊ハ千九百四十五年九月一日一〇〇〇時頃鹿屋飛行場ニ着陸スベシ正確ナル到着時間ニ關シテハ飛行中ノ航空機ヨリ在鹿屋航空基地地域ノ鹿屋無線局ニ對シ呼出符號「DISK」ヲ以テ無線ヲ以テ直接連絡スルモノトス右航空機ハ周波數四四九五「キロサイクル」呼出符號「VICTOR」ヲ使用ス
- 先遣隊ニ對スル充分ノ安全及援助トハ左ノ諸項ヲ含ムモノトス
- (イ) 鹿屋飛行場ヘノ安全ナル進駐及着陸
 - (ロ) 鹿屋地域ニ駐屯中先遣隊ノ人員、航空機、裝備ニ對スル安全保障及危害防止
 - (ハ) 先遣隊各員ノ任務遂行中彼等ニ對スル有ユル好意ヲ持シ且便宜ヲ供與スルコト
 - (ニ) 鹿屋飛行場ニ於ケル安全ニ護衛セラレタル宿舍ノ供與
 - (ホ) 先遣隊各員ノ鹿屋地域駐屯中何所ニ在ルヲ問ハズ其ノ絕對安全ヲ保障スベキ員數及裝備ヲ有スル警察官ニ依ル護衛

(ハ) 南九州地域所在部隊ヲ統轄スル日本陸軍航空司令部、海軍航空司令部、陸軍上級司令部、海軍上級司令部ノ夫々ノ前任將校各一名ハ聯合國先遣隊長鹿屋到着次第之ヲ援助シ且鹿屋地域ノ設備ニ付先遣隊長ヨリ要求スルコトアルベキ情報ヲ供與シ又ハ供與シ得ル如ク準備シ置クベシ又先遣隊長ノ必要トスルコトアルベキ通譯及案内者ヲ供與スベシ

(ニ) 先遣隊長ノ要求スルコトアルベキ鹿屋地域ニ於ケル安全ナル自働車輸送及其ノ通路選定

(ホ) 鹿屋地域ニ於テ先遣隊長ノ指示スベキ諸地域及施設ハ自由ニ檢閲シ得ル如クス

(ロ) 先遣隊長ト東京灣方面第一次撤退地域ニ在ル聯合國最高司令官トノ間ノ自由ナル無電通信

先遣隊長ノ到着時間、着陸ニ關スル指示事項及其ノ他安全飛行ニ必要ナル事項ニ關シ飛行中連絡スベキ鹿屋地域ノ無線局ノ呼出符號

0188

及其周波數ヲ千九百四十五年八月三十一日一五〇〇時又夫レ以前ニ通報スルコト

六 日本帝國政府及大本營ハ鹿屋地域ニ關シ千九百四十五年八月三十一日一八〇〇時又ハ夫レ以前ニ上記ノ外左ノ如キ當方要求事項ヲ完全ニ履行スルヲ要ス

(イ) 鹿屋地域ニ對スル陸及空ヨリスル安全ナル進駐及鹿兒島灣高須及同灣口ヲ經テ海ヨリスル安全ナル進駐ヲ阻害スル地雷、機雷、原其ノ他ノ障礙物ハ北方北緯三十一度三十分ニ至ル迄一切之ヲ除去スベシ

(ロ) 南部鹿兒島灣及其ノ灣口ニ於ケル水先案内ハ之ヲ續行スベシ一切ノ水先案内人ハ各自ノ通常ノ勤務場所ニ在リテ海圖ヲ所持シ居ルベシ

(ハ) 高須灣ヲ含ミ南部鹿兒島灣及其ノ灣口ニ於ケル諸港灣運營關係ノ日本海軍軍人及其ノ他ノ職員ハ引續キ其ノ勤務場所ニ於テ通

0189

常任務ヲ續行スベシ

(二) 鹿兒島灣及其ノ灣口ニ在ル一切ノ船舶及舟艇ハ其ノ種類ノ如何ヲ問ハズ之ヲ停止セシムベシ

(三) 鹿屋地域(別紙甲参照)ヨリ一切ノ日本軍戰團部隊ヲ撤退シ且其ノ指定セザレタル宿營區域内ヨリ出デシメザルコト。但シ暴動、狙撃其ノ他公安ヲ亂ス行動及多數人民ノ集合ヲ禁止シ且之ヲ防止スル爲必要ナルベキ一切ノ警察官及憲兵ハ此ノ限ニ非ズ非武装ノ軍人ニシテ通常ノ管理ノ任務ヲ行フニ必要ナル者ニ付亦同ジ。警察官及憲兵ノ携行スル火器ハ小火器ニ限ル

(四) 日本國大本營ハ鹿屋飛行場ヲ維持シ且之ヲ完全ニ使用シ得ル狀態ニ存置スルモノトス

(五) 鹿兒島灣内ニ在ル航行補助諸施設ハ之ヲ復活スルモノトシ之ガ完全ニ復活スル迄ハ現行ノ戰時航路標示照明ハ之ヲ維持スベシ。但シ現在ノ微光燈ハ之ヲ全光度ヲ以テ照明スルモノトス

(六) 北緯三十一度四十五分以南ノ九州ノ一切ノ海岸砲、高射砲其ノ他ノ固定及可動砲ハ口径ノ如何ヲ問ハズ尾栓ヲ除去シ砲身ヲ最低俯角トシ使用不可能ナラシムルモノトス

(七) 鹿兒島灣内ニ在ル一切ノ船舶ヲ完全ニ武装解除シ且本文書中ニ明記シタル武器ノ外北緯三十一度四十五分以南ノ九州ニ存スル小火器ヨリ大ナル武器ハ一切之ヲ使用不可能ナラシムルモノトス

(八) 本文書第三號(聯合國最高司令官及其ノ隨行部隊ノ進駐ニ關スル要求事項)附屬(甲)ニ指示セラレタル適當ナル宿泊設備宿營及野營地域諸施設ヲ準備スベシ

聯合國最高司令官ノ代表到着次第直ニ且其後處理ヲ要スル一切ノ問題ヲ速急ニ解決スル爲指示セルベキ時期及場所ニ於テ協議シ得ル様鹿屋方面ノ陸海空軍ヲ指揮統轄スル上級司令部ノ參謀部員ヲシテ待機シムベシ



REQUIREMENTS OF
THE SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED
POWERS PRESENTED TO THE JAPANESE
REPRESENTATIVES AT MANILA, P.I., 20

AUGUST 1945

CONTENTS

- Document I "ORIENTATION, AGENDA AND REQUIREMENTS (Revised)"
- Document II "REQUIREMENTS FOR ENTRY AND OPERATIONS OF AN ADVANCE PARTY REPRESENTING THE SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS WITHIN THE TOKYO BAY AREA" With ANNEX "A" (Map).
- Document III "REQUIREMENTS FOR ENTRY OF THE SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS AND HIS ACCOMPANYING FORCES" With ANNEX "A", LOGISTIC REQUIREMENTS.
- Document IV "REQUIREMENTS FOR ENTRY AND OPERATIONS OF INITIAL OCCUPATION FORCES IN THE KANOKA AREA OF SOUTHERN KYUSHU." With ANNEX "A", (Map)

0193

ハ 第一次占領部隊指揮官ノ要求アルトキハ之ニ應ジ得ル様魔屋方面
ヲ熟知セル案内者及通譯百名ヲ準備シ置クベシ
ハ 魔屋島灣内高須港進入ノ安全ヲ保障スル爲日本艦船一隻ハ獨クト
モ千九百四十五年八月三十一日一五〇〇時以前九州南方佐多岬ノ
九十度三十度ノ地點ニテ米國海軍部隊ニ邂逅スル爲待機シ之ヲ魔
屋島灣内ニ誘導スベシ右日本船舶船長ハ米國海軍先任指揮官ノ指
示アル時ハ之ニ應ジ所要部隊ヲ魔屋島灣内ニ誘導スル爲水先案内
人八名ヲ差出スベシ之等ノ水先案内人ハ水中防備施設、機雷原其
ノ他ノ妨礙物及一切ノ航海補助施設ノ位置ヲ明示セル完全ナル海
圖ヲ所持スベシ

0192

REQUIREMENTS OF
THE SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
PRESENTED TO THE JAPANESE REPRESENTATIVES
AT MANILA, P.I., 19 AUGUST 1945

THIS DOCUMENT CONSTITUTES A REVISION AS TO
PARAGRAPH 1, OF A SIMILAR DOCUMENT PRESENTED
EARLIER.

I.
ORIENTATION, AGENDA AND REQUIREMENTS

1. The Supreme Commander for the Allied Powers will accept the surrender of the Japanese Armed Forces in TOKYO BAY on a United States Battleship on the 31st of August 1945, the exact time to be designated later. To effectuate the surrender it will be required that the Supreme Commander for the Allied Powers and accompanying forces arrive in TOKYO BAY prior to the ceremony in the following chronological sequence:

26 August

- a. An Advance Party will arrive by air at ATSUGI Airdrome.
- b. United States Naval Forces will arrive in SAGAMI WAN.
- c. Naval Forces will advance into TOKYO BAY.

28 August

- a. Airborne forces accompanying the Supreme Commander for the Allied Powers will commence landing at ATSUGI Airdrome.
- b. Naval and Marine Forces will land in the vicinity of YOKOSUKA Naval Base.

c.

29-30 August

31 August

c. The forces indicated above will occupy and establish themselves at once within a specifically designated area pending consummation of the formal surrender. Landing of airborne and naval forces continues.

a. Landing of airborne and naval landing forces continues.

b. Aboard a United States Battleship in TOKYO BAY at an hour to be designated later, the Supreme Commander for the Allied Powers will receive from the duly authorized representatives of the Japanese Emperor, the Japanese Government and the Japanese

General Headquarters the proclamation signed by the Emperor of Japan and the Instrument of Surrender to be signed as indicated at that ceremony.

Immediately following the formal surrender, these two documents together with General Order

No. 1, Military and Naval, will be promulgated throughout Japan and to Japanese people and Japanese-controlled armed forces wherever situated.

Advance party lands on KANOYA Airdrome.

Airborne landing at KANOYA airdrome and naval landing at TAKASU.

1 September

2 September

2.

0194

0195

RA'-0088

0111

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

2. The following information is supplied to the Japanese representatives as their schedule during and subsequent to their meeting with representatives of the Supreme Commander for the Allied Powers in MANILA.

About 2030 hours,
19 August 1945.

Japanese representatives will be conducted to the Headquarters of the Supreme Commander for the Allied Powers. They will be prepared to furnish such information as they may have available pertaining to:

a. Facilities in the TOKYO BAY AND KANOYA (KYUSHU) Areas, such as

Airfields.

Seaplane bases.

Naval Bases.

Anti-aircraft Defenses.

Harbor Defense.

Mines, minefields and other obstacles to movement by land, sea and air, and the safety lanes in connection therewith.

Aids to air and water navigation.

Harbor facilities.

Petroleum storage facilities, including pipeline distribution systems.

Supply storage, covered and open.

Officers quarters.

troop cantonments.

Troop barracks.

Office space.

0196

Motor

0830, 20 August 1945

Motor Transportation.

b. Prisoner of War and civilian Internee Camps and places of detention wherever located within JAPAN and Japanese-controlled areas. Specifically the present locations of Generals J.M. Wainwright and A.E. Percival are required.

The Japanese representatives will be furnished with documents containing the requirements of the Supreme Commander for the Allied Powers to facilitate the entry of the Supreme Commander and his accompanying forces into the TOKYO BAY and the KANOYA airfield area; and the following documents which the Japanese representatives will deliver to the Emperor of Japan upon their return to TOKYO:

a. Proclamation by the Emperor of Japan. This document will be signed by the Emperor and delivered by his representative to the Supreme Commander for the Allied Powers at the time and place of formal surrender, later designated.

b. Instrument of Surrender. This document will be presented, at the time and place of formal surrender, for signature by the

the

0197

RA'-0088

0112

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

the parties as indicated therein.

c. General Order No. 1, Military and Naval. This document will be promulgated subsequent to the formal surrender as directed in the Proclamation by the Emperor of Japan and the Instrument of Surrender.

Later 20 August 1945

The Japanese representatives will depart from MANILA via IZ SHIMA for TOKYO. The Japanese representatives will promptly notify the Supreme Commander for the Allied Powers of the time of arrival at destination. They will immediately deliver to the Emperor the documents listed in a, b, and c, above, and convey to him the requirements for the entry of the Supreme Commander for the Allied Powers and his accompanying forces into the TOKYO BAY area and for the occupation of the KANOYA airfield.

3. The timing of events hereinbefore indicated is subject to change at the convenience of the Supreme Commander for the Allied Powers.

0198

REQUIREMENTS
OF THE
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
PRESENTED TO JAPANESE REPRESENTATIVES
AT MANILA, P.I., 20 AUGUST 1945

II

REQUIREMENTS FOR ENTRY AND OPERATIONS OF AN
ADVANCE PARTY REPRESENTING THE SUPREME COMMANDER
FOR THE ALLIED POWERS WITHIN THE TOKYO BAY AREA

1. a. The "TOKYO BAY Area" as employed in these and succeeding requirements by the Supreme Commander for the Allied Powers, is defined as the area enclosed in RED on map, "Inclosure A," which is to be regarded as a part of this document.

b. The "Area of Initial Evacuation" within the TOKYO BAY area as employed in these and succeeding requirements by the Supreme Commander for the Allied Powers, is defined as the area enclosed in BLACK on the above-mentioned "Inclosure A."

2. The Advance Party will represent the Supreme Commander for the Allied Powers to make preparations for the entry into the "Area of Initial Evacuation" of the Supreme Commander for the Allied Powers and his accompanying airborne and naval forces.

3. The Japanese Imperial General Headquarters will acknowledge to the Supreme Commander for the Allied Powers by radio on or before 1500 hours, 25 August 1945, safe conduct for an Advance Party consisting of about 150 personnel, transported in about 48 airplanes, all with standard United States markings. This party will land at AISUGI Airdrome about 0900 hours, 26 August 1945. Exact time of arrival will be communicated by direct

0199 radio

RA'-0088

0113

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

radio from airplanes in flight to TOKYO station in the "TOKYO BAY Area" whose call sign will be "RED". Airplanes will employ the call sign "VICTOR" on a frequency of 4495. Safe conduct will include the following:

- a. Safe procedure to and landing at ATSUGI Airdrome.
- b. Security and preservation from harm of personnel, airplanes and equipment of the party while in the "Area of Initial Evacuation."
- c. Provision of every courtesy and facility to members of the Advance Party in accomplishment of their mission.
- d. Provision for suitable safe-guarded quarters on ATSUGI Airdrome.
- e. Police escort in such numbers and so equipped as to insure absolute safety for each member of the Advance Party wherever he may be while in the ATSUGI Airdrome Area.
- f. The services of a Senior Officer from the Japanese Army Air Headquarters; one from the Japanese Naval Air Headquarters; one from the Japanese Army Headquarters and one from the Japanese Naval Headquarters, available to the Commander of the Advance Party upon arrival at ATSUGI Airdrome, prepared to provide or make available such information as may be required by the Commander of the Advance Party as to facilities in the "Area of Initial Evacuation." Services of such guides and interpreters as may be required by the Commander of the Advance Party.
- g. Safe motor transportation and routing within the ATSUGI Airdrome Area as required by the Commander of the Advance Party.
- h. Free communications by radio between the Advance

0200

Advance Party and the Supreme Commander for the Allied Powers in MANILA.

4. Advice is required on or before 1500 hours, 24 August 1945, as to the identity and frequency of the radio station in the TOKYO BAY area with which the Advance Party will communicate in flight concerning time of arrival, landing, instructions and other necessary matters relating to the safe flight of the Party.

5. The Japanese Imperial General Headquarters will evacuate all combatant units of the Japanese Armed Forces from the ATSUGI Airdrome Area. There is excepted all civil police and gendarmerie, which will be maintained as necessary to prevent outbreaks, sniper fire and other overt acts. The airdrome will be maintained and left in full operational condition for use by the Advance Party.

0201

REQUIREMENTS
OF THE
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
PRESENTED TO JAPANESE REPRESENTATIVES
AT MANILA, P.I., 20 AUGUST 1945

III.
REQUIREMENTS FOR ENTRY OF THE SUPREME COMMANDER
FOR THE ALLIED POWERS AND HIS ACCOMPANYING
FORCES

1. The Japanese Imperial Government and Japanese Imperial General Headquarters will require execution of the following requirements, effective 1800 hours 24 August 1945.

a. Japanese armed forces and civil aviation authorities will insure that all Japanese military, naval and civil aircraft in Japan remain on the ground, on the water or aboard ship until further notification of the disposition to be made of them.

b. Japanese or Japanese-controlled military, naval or merchant vessels of all types in Japanese waters will be maintained without damage and will undertake no movement beyond voyages in progress, pending instructions of the Supreme Commander for the Allied Powers. Vessels at sea will immediately render harmless and throw overboard explosives of all types. Vessels not at sea will immediately remove explosives of all types to safe storage ashore.

c. Merchant vessels under 100 gross tons engaged in civilian supply activities in Japanese waters are excepted from the foregoing instructions. Vessels in TOKYO BAY engaged in evacuation of personnel from YOKOSUKA Naval Base are also excepted.

0202

d. Japanese or Japanese-controlled ships at sea wherever located, will report their positions in plain language immediately to the nearest United States, British or Soviet radio station on 500 kilocycles (600 meters) and to the call sign NQO on one of the following high frequencies: 4235, 8470, 12705, or 16940 kilocycles. They will proceed to the nearest Allied port or such port as the Commander-in-Chief, United States Pacific Fleet, may direct, and will await further orders. Ships will burn navigational lights at night and will display searchlights with beams held vertically.

e. Japanese or Japanese-controlled submarines, wherever located, will remain on the surface, fly a black flag or pennant and show lights at night. They will report their positions in accordance with the next preceding paragraph, and will proceed on surface to the nearest of the following ports: Agaña, Guam; Midway Island; or Subic Bay, Philippine Islands. Upon arrival at point ten miles from entrance to the port communicate with the port and lie-to until boarded by Allied Naval Forces.

f. The safety and well-being of all United Nations prisoners of war and civilian internees will be scrupulously preserved, to include the administrative and supply service essential to provide adequate food, shelter, clothing and medical care, until such responsibility is undertaken by the Supreme Commander for the Allied Powers. Local delivery of supplies dropped for United Nations prisoners of war and internees will be insured.

g.

0203

RA'-0088

0115

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

g. Each camp or other place of detention of United Nations prisoners of war and civilian internees will be marked with the letters "PW," twenty feet in height in yellow on black background, reading south to north. For further details see Inclosure (A).

2. The Japanese Imperial Government and Japanese Imperial General Headquarters will require execution of the following requirements effective 1800 hours 25 August 1945.

a. All mines, minefields and other obstacles to safe movement by land, sea and air into the TOKYO BAY area will be removed and, pending such action, all safety lanes will be kept open and clearly marked.

b. All aids to navigation will be re-established and, pending the accomplishment of this task, the existing war system of navigational lighting will be maintained except that all dimmed lights will be shown at full brilliancy.

c. The Piloting Services will continue to operate in the TOKYO BAY area and all pilots will be held in their normal stations ready for service and equipped with charts.

d. Japanese naval and other personnel concerned with operation of ports will remain at their stations and continue to carry out their normal duties.

e. Immobilize all vessels and craft, of whatever type, in TOKYO BAY and the approaches thereto.

f. Remove breechlocks from, fully depress and render inoperative, all coast defense, anti-aircraft and other fixed and mobile artillery of all calibers

within

0204

within the TOKYO BAY area.

g. Completely disarm all craft in the TOKYO BAY area and render inoperative all weapons, of whatever type, which may exist in the "Area of Initial Evacuation," in addition to those specifically set forth herein.

3. The Japanese Imperial Government and the Japanese Imperial General Headquarters will require execution of the following requirements effective

1800 hours 27 August 1945.

a. The YOKOSUKA Naval Base will be prepared for occupation and possible operation by United States Naval units.

b. Evacuate all combatant units of the Japanese armed forces from the "Area of Initial Evacuation" (see chart), and confine them to the limits of their assigned bivouacs. There is excepted all civil police and gendarmie, which will be maintained as necessary to prevent outbreaks, sniper fire and other overt acts and to prohibit and prevent any substantial gatherings of populace. There are also excepted such unarmed military personnel as are necessary for normal care-taking functions. Fire-arms employed by civil police and gendarmerie will be limited to small arms. On O-SHIMA the personnel may remain but will be disarmed.

c. Provide adequate accommodations, billets and camp area facilities and utilities, for the Supreme Commander as indicated in detail in the attached Inclosure (A).

4.

0205

RA'-0088

0116

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

4. The Japanese Imperial Government and the Japanese Imperial General Headquarters will require execution of the following requirements effective 0600 hours 28 August 1945:

a. Make available members of the Imperial General Staff for conference with representatives of the Supreme Commander for the Allied Powers at ATSUGI Airdrome immediately upon arrival, and at such times and places thereafter as may be directed for the prompt settlement of all matters requiring attention.

b. Make available one hundred and twenty-five (125) local guides and interpreters familiar with the "Area of Initial Evacuation."

5. To insure safe entry into TOKYO BAY area, a Japanese ship will as soon as practicable and not later than 0800 hours 26 August 1945 meet United States Naval forces twenty (20) miles bearing one hundred thirty-five degrees (135°) from O-SHIMA, and will lead those forces into SAGAMI WAN and will supply twelve pilots to conduct certain forces into TOKYO BAY when and as directed by the Senior United States Naval Commander present. These pilots will be equipped with complete charts showing the location of all underwater defenses, minefields and other obstructions, and also all aids to navigation.

6. The following general measures are being taken by 0600 hours, 25 August 1945 by forces of the Allied Powers within their several zones of action:

a.

a. United Nations aircraft will conduct day-light and night surveillance flights over JAPAN and Japanese-controlled areas.

b. United Nations air forces will drop supplies to United Nations Prisoner of War and Internee Camps and places of detention.

c. United Nations naval forces will occupy the coastal waters of JAPAN and Japanese-controlled areas.

d. United Nations naval forces may start mine sweeping operations at any of the following ports: TOKYO, OSAKA, SASEBO, NAGASAKI, TAKASU (KAGOSHIMA-WAN), JINSEN (CHEMULPO), TSINGTAO, SHANGHAI, CANTON, HONGKONG, SINGAPORE.

In the above duties they will be unmolested.

0206

0207

RA'-0088

0117

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

INCLOSURE A
TO
DOCUMENT III

1. The facilities described in the following paragraphs are required and will be made available in the area of initial occupation.

2. General Headquarters Area:

The facilities described in the following subparagraphs will be in one general area, suitably located in an uncongested locality, and which provides the required facilities reasonably grouped for use for the purpose indicated. All buildings and facilities provided will be completely furnished and sanitary facilities.

a. A suitable residence for the Supreme Commander for the Allied Powers, with appropriate appointments and furnishings, and with additional bedrooms sufficient in number for four aides and three personal servants.

b. Additional suitable residences, with appropriate appointments and furnishings, located in the vicinity of the residence of the Supreme Commander for the Allied Powers, for his Chief of Staff and nine other General Officers.

c. Quarters, consisting of hotel or dormitory accommodations or equivalent, for six hundred officers, with toilet and bath facilities.

d. Barracks or other buildings sufficient in capacity to accommodate 2,300 men, together with necessary kitchen, mess, bath, latrine, and administrative buildings. The capacity of barrack buildings shall be computed on the basis of not less than 500 cubic feet of space per man.

e.

0208

e. Approximately 57,000 square feet of covered space will be required for headquarters offices. This space may be subdivided in two locations, separated at a reasonable distance if necessary, on the basis of 49,000 square feet in one location and 18,000 square feet in another.

f. Approximately 10,000 square feet of covered warehouse space will be required for storage of supplies. This space should be located in the vicinity of the troop barracks area. Approximately 100,000 square feet (two acres) of open storage or parking area is required in the vicinity of the covered storage indicated above.

g. Motor transportation will be available in the area in quantities indicated below, not later than 1500 hours, 27 August 1945. All vehicles will be completely serviced with gasoline, oil, and grease, prior to transfer to the Allied forces. Gasoline and oil will be furnished for these vehicles as required during the period of their use by the Allied forces. The vehicles required in the General Headquarters area are as follows:

150 passenger vehicles

25 buses (capacity 15 persons each, or more)

50 trucks, cargo type, 2- to 2½-ton capacity

3. Airdrome Area:

a. The airdrome selected for initial landing of Allied forces will be complete with operational facilities for day and night operation, hangars, maximum hardstand area for parking, and radio communications, and will have living quarters for approximately 3,000 in the vicinity of the airdrome. The airdrome will be cleared of all debris and will be ready for safe operation not later than 0300 hours.

0209

RA'-0088

0118

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

26 August 1945.

In addition to the fixed operating facilities
airdrome, servicing and operating equipment, in first
condition, as indicated below, will be provided no
0300 hours 26 August 1945:

Fire Trucks
Crash Trucks
Passenger Buses (20-ton)
Bulldozers
Tractors (D-8 or larger) (7-ton)
Road Scrapers, motorized
Aircraft for airplanes
(full tank trucks of 500 to
700 gallon capacity)

10 Ambulances

c. In addition to the above, the following motor
transportation will be available at the airdrome not
later than 1500 hours 27 August 1945:

50 Passenger vehicles (staff cars or equivalent)
50 Buses (capacity, 15 persons each, or more)
400 Trucks, cargo, approximately 2-ton capacity

4. Naval Area:

Naval facilities will be available for occupation
by Allied forces not later than 1800 hours, 26 August 1945
as indicated below:

a. The entire Naval Base at Yokosuka, with all
present facilities, complete with piers, workshops,
docks, hospitals, and all other equipment ready for
operation, and including living quarters for approximately
15,000. The area of the base will include surrounding te
rritory of not less than 250 acres. Upon occupation of
the base by Allied forces, there shall be available 25
passenger

0210

passenger vehicles and 50 trucks of approximately two-
ton capacity, ready for immediate operation.

b. The Yokosuka Naval Air Base, complete with all
operating facilities and including living quarters for
approximately 4,000, will be ready for occupancy by
Allied forces at the same hour and date as stipulated
above for the Yokosuka Naval Base.

c. All installations, prior to occupation by Allied
forces, shall be clear of all debris and obstructions,
including demolitions.

5. General Facilities:

The general facilities indicated below, suitably
located with respect to the area initially occupied by
Allied forces, will be available for use by Allied forces
not later than 0300 hours, 28 August 1945.

a. Harbor facilities to be furnished will include
berth for one ship of 450-foot length and 30-foot draft,
and a fueling jetty or wharf for discharging petroleum
products from tankers of 24-foot to 30-foot draft.

6. Miscellaneous:

a. All the foregoing facilities, when delivered to
the Allied forces, will be cleared of debris, scrupulously
clean, sanitary, and in full operating condition.

b. Vehicles to be furnished to Allied forces will be
provided with drivers who will be retained or released by
the Commander of Allied forces accepting delivery of the
vehicles. Upon delivery of vehicles to Allied forces,
they will be serviced with gasoline, oil, and grease
and an adequate supply of gasoline and oil will be made
available to Allied forces for the operation of all vehicles.

The Japanese Government will establish a
Central

0211

Central Agency, whose function will be to provide areas and facilities required by Allied forces during occupation. To facilitate dealing with the headquarters of the Supreme Commander for the Allied Powers, this agency will be located in Tokyo. Three subordinate echelons of this agency will be required subsequently for location in the vicinity of the headquarters of the principal commanders of Allied forces occupying other areas. The Central Agency to be located in Tokyo will be operative not later than 1800 hours, 31 August 1945.

8. Information will be sent by radio to the headquarters of the Supreme Commander for the Allied Powers at Manila without delay, concerning camps in which Prisoners of War and Civilian Internees of the United Nations are being held, as follows:

- a. Camps, by name or other official designation.
- b. Location, with respect to nearest prominent geographical point.
- c. Latitude and longitude, in degrees and minutes, of each camp.

d. Total number of Prisoners of War and Civilian Internees, stated separately, in each camp, and including, where appropriate, number of females included in the totals.

9. There is attached hereto a sample form of radio communication to be used in reporting locations of Prisoner of War and Civilian Internee camps in compliance with paragraph 8 above. To avoid congestion of radio communication channels, the locations of not more than five camps will be reported in any single radio.

0212

Sample Radio

(Camps, locations, and numbers are used as samples only and are not necessarily existing camps).

TO : Supreme Commander of Allied Powers
Headquarters Manila

USING FORM HANDED OUR REPRESENTATIVES IN MANILA AND IN ACCORDANCE WITH YOUR REQUEST CMA LISTED BELOW IS COMPLETE INFORMATION ON PRISONER OF WAR AND CIVILIAN INTERNEE CAMPS PD () COLUMN ONE CLN OMORI NUMBER EIGHT PD COLUMN TWO CLN ARTIFICIAL ISLAND EAST OF OMORI STATION TOKYO HONSHU PD COLUMN THREE CLN THREE FIVE DEGREES THREE FIVE MINUTES NORTH PD COLUMN FOUR CLN ONE THREE NINE DEGREES FOUR FOUR MINUTES THREE ZERO SECONDS EAST PD COLUMN FIVE CLN SIX ONE ONE PD COLUMN SIX CLN FIVE SEVEN TWO PD COLUMN SEVEN CLN THREE NINE PD COLUMN EIGHT CLN NONE PD COLUMN ONE CLN MA TAU CHUNG PRISON CAMP NUMBER ONE PD COLUMN TWO CLN SEVEN ZERO ZERO YARDS SOUTHWEST OF KAT TAK AIRFIELD HONGKONG CHINA PD COLUMN THREE CLN TWO TWO DEGREES ONE NINE MINUTES NORTH PD COLUMN FOUR CLN ONE ONE FOUR DEGREES ONE ONE MINUTES EAST PD COLUMN FIVE CLN SIX ZERO ZERO PD COLUMN SIX CLN FIVE THREE FIVE PD COLUMN SEVEN CLN SIX FIVE PD COLUMN EIGHT CLN FOUR ZERO PD INFORMATION FOR ADDITIONAL CAMPS AS ABOVE PD

0213

Information on Prisoner of War

Column 1	Column 2	Column 3	Column 4
Name of Camp or other offi- cial designa- tion	General location with respect to nearest prominent geographical point or feature	Latitude of camp in degrees and minutes	Longitude of camp in degrees and minutes

OMORI Camp No. 8	Artificial Island East of OMORI Station TOKYO, HONSHU	35°35'N	139°44'30"E
MA TAU CHUNG Prison Camp No. 1	700 yds south- west of Kai TAK airfield HONGKONG, CHINA	22°19'N	114°11'E

The above listed camps, locations,
do not necessarily represent exist

0214

and Civilian Internee Camps

Column 5	Column 6	Column 7	Column 8
Total personnel held in camp	Number of Prison- ers of War	Number of Civilian Internees	Number of Females if appropriate

611	572	29	None
600	535	65	40

and figures are used as samples only and
ing camps.

0215

REQUIREMENTS

SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
PRESENTED TO JAPANESE REPRESENTATIVES
AT MANILA, P.I., 20 AUGUST 1945

IV

REQUIREMENTS FOR ENTRY AND OPERATIONS OF
INITIAL OCCUPATION FORCES IN THE KANOYA
AREA OF SOUTHERN KYUSHU

1. The "KANOYA Area" of Southern KYUSHU as employed in present and succeeding requirements by the Supreme Commander for the Allied Powers, is defined as shown in RED on map "INCLOSURE 'A'," which is to be regarded as a part of this document.
2. An Advance Party representing the Supreme Commander for the Allied Powers will enter the Area 1 September 1945 to make preparations for the entry into the "KANOYA Area" of seaborne and airborne initial occupation forces. Such Occupation Forces will enter the Area 2 September 1945.
3. The Japanese Imperial General Headquarters will provide the Supreme Commander for the Allied Powers, in the TOKYO BAY Area, on or before 1200 hours, 30 August 1945, guarantee of full security for entry into the "KANOYA Area" and assistance therein for an Advance Party consisting of twenty personnel transported in two airplanes, both with standard United States markings. This party will land at the "KANOYA" Airdrome about 1000 hours 1 September 1945. Exact time of arrival will

be

be communicated by direct radio from airplanes in flight to KANOYA station in the KANOYA Airbase area, whose call sign will be "DISK." Airplanes will employ the call sign "VICTOR" on a frequency of 4495 kilocycles.

4. Full security and assistance to the Advance Party in the "KANOYA Area" will include:

- a. Safe procedure to and landing at KANOYA Airdrome.
 - b. Security and preservation from harm of personnel, airplanes and equipment of the Party while in the "KANOYA Area."
 - c. Provision of every courtesy and facility to members of the Advance Party in accomplishment of their mission.
 - d. Provision for safe-guarded quarters on the KANOYA Airdrome.
 - e. Police escort in such numbers and so equipped as to insure absolute safety for each member of the Advance Party wherever he may be while in the "KANOYA Area."
 - f. The services of a Senior Officer from the Japanese Army Air Headquarters; one from the Japanese Naval Air Headquarters; one from the Superior Japanese Army Headquarters; and one from the Superior Japanese Naval Headquarters, exercising control of the respective forces in the Southern KYUSHU Area, available to the Commander of the Advance Party upon arrival at KANOYA Airdrome, prepared to provide or make available such information as may be required by the Commander of the Advance Party as to facilities in the "KANOYA Area."
- Services of such guides and interpreters as may

0216

0217

RA'-0088

0122

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

g. Safe motor transportation and routing within the "KANOYA Area" as required by the Commander of the Advance Party.

h. Access for inspection purposes to such facilities within the "KANOYA Area" as may be indicated by the Commander of the Advance Party.

i. Free communications by radio between the Advance Party and the Supreme Commander for the Allied Powers in the "Area of Initial Evacuation," TOKYO BAY Area.

5. Advice is required on or before 1500 hours, 31 August 1945, as to the identity and frequency of the radio station in the "KANOYA Area" with which the Advance Party will communicate in flight concerning time of arrival, landing instructions and other necessary matters relating to the safe flight of the Party.

6. The Japanese Imperial Government and the Japanese Imperial General Headquarters will complete execution of the following additional requirements, effective on or before 1800 hours 31 August 1945 with respect to the "KANOYA Area:"

a. Removal of all mines, minefields and other obstacles to safe movement via all land and air routes into the "KANOYA Area" and by sea via TAKASU, KAGOSHIMA WAN and its approaches, as far north as latitude 31°30' North.

b. Continued operation of the piloting services in the Southern KAGOSHIMA WAN and approaches thereto. All pilots will be held in their normal stations and will be equipped with charts.

c.

0218

c. Continuation at their stations and normal duties of Japanese naval and other personnel concerned with operation of ports in the Southern KAGOSHIMA WAN and approaches thereto, including the port of TAKASU.

d. Immobilization of all vessels and craft of whatever type in the KAGOSHIMA WAN and approaches thereto.

e. Evacuation of all combatant units of the Japanese Armed Forces from the "KANOYA Area" (see "INCLOSURE 'A'") and retention of them within the limits of their assigned bivouacs. There is excepted all civil police and gendarmerie, which will be maintained as necessary to prevent outbreaks, sniper fire and other overt acts and to prohibit and prevent any substantial gatherings of the populace. There are also excepted such unarmed military personnel as are necessary for normal caretaking functions. Fire arms employed by civil police and gendarmerie will be limited to small arms.

f. The Japanese Imperial General Headquarters will maintain and have the KANOYA Airdrome in a full operational status.

g. Re-establishment of all aids to navigation in the KAGOSHIMA WAN. Pending the accomplishment of this task, the existing war system of navigational lighting will be maintained except that all dimmed lights will be shown at full brilliancy.

h. Removal of breechblocks from full depression and the rendering inoperative of all coast defense, anti-aircraft and other fixed and mobile artillery of all calibers on KYOSHU south of latitude 31°45' North.

0219

i. Complete disarmament of all craft in the KAGOSHIMA WAN and the rendering inoperative of all weapons, of whatever type larger than small arms, which may exist in KYUSHU south of Latitude 31°45' North, in addition to those specifically set forth herein.

j. Provision of adequate accommodations, billets and camp area facilities and utilities, as indicated in Inclosure (A) to DOCUMENT III herein ("Requirements for Entry of The Supreme Commander for The Allied Powers and His Accompanying Forces").

7. Members of the General Staffs of the Superior Headquarters exercising command and control of ground, air and naval forces in the "KANOKA Area" will be made available for conferences with representatives of the Supreme Commander for the Allied Powers at KANOKA Airdrome immediately upon their arrival, and at such times and places thereafter as they may direct for the prompt settlement of all matters requiring attention.

8. One hundred (100) local guides and interpreters familiar with the "KANOKA Area" will be made available as required by the Commander of the Initial Occupation Forces.

9. To insure safe entry into the KAGOSHIMA WAN to the port of TAKASU, a Japanese ship will, beginning not later than 1500 hours, 31 August 1945 take station to meet U.S. Naval Forces at 30 miles, bearing 90°, from SATA-MISAKI, Southern KYUSHU, and will lead those forces into the KAGOSHIMA WAN. The commander of the Japanese ship will supply eight pilots to conduct certain surveys into the KAGOSHIMA WAN when and as directed by the Senior U.S. Naval Commander present. These pilots

will 0220.

- 6 -

will be equipped with complete charts showing the location of all underwater defenses, minefields and other obstructions and all aids to navigation.

0221

RA'-0088

0124

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan